

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
2024年5月16日	
群馬県知事 様	
提出者 〒370-0523 住 所 群馬県邑楽郡大泉町大字吉田1222番地 氏 名 味の素冷凍食品株式会社 関東工場 常務執行役員 関東工場長 山崎 委三 電話番号 0276-62-5181	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	味の素冷凍食品株式会社 関東工場
事業場の所在地	群馬県邑楽郡大泉町大字吉田1222番地
計画期間	2024年4月～2025年3月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	冷凍調理食品の製造
②事業の規模	300億円
③従業員数	約930名（パート社員、派遣社員含む）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<div>産業廃棄物処理工程図</div> <div><div>発生源</div><div>廃棄物</div><div>処理・処分</div></div> <div><div>冷凍調理食品製造工程</div><div>動植物性残さ</div><div>廃油(鉱物油)</div><div>排水処理</div><div>包装資材等</div><div>廃プラスチック類</div><div>中間処理施設</div><div>肥料・飼料化</div><div>燃料</div><div>肥料化</div><div>燃料</div></div> <div>処理委託部分</div>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項							
(管理体制図)							
<pre> graph TD A[関東工場長(統括責任者)] --- B[環境事務局] A --- C[環境会議] A --- D[品質管理グループ] A --- E[総務部] A --- F[製造部] A --- G[生産管理部] D --- D1[品質管理グループ長] E --- E1[総務部長] E --- E2[総務・リスク管理グループ長] F --- F1[製造部長] F --- F2[製造グループ長] G --- G1[生産管理部長] G --- G2[製造技術グループ長] </pre>							
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項							
①現状	【前年度（2023年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類			
	排 出 量	1334.507 t	674.69 t	342.807 t	t	t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 中間品やライン拭き取り箇所強化等による衛生トラブル未然防止 ・ 残渣への水混入防止対策強化 ・ 原料ビニール類の脱水による廃プラ軽量化						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類			
	排 出 量	1270 t	640 t	325 t	t	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 排水処理施設の薬剤変更による汚泥削減検討 ・ 植物油混合液の排水削減による汚泥減容化 ・ 動植物性残渣の有価物への転用						
産業廃棄物の分別に関する事項							
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ 有価化可能な項目について分別回収						
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ より詳細な分別により、有価化増を目指す						

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項							
①現状	【前年度（ 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類						
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類						
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)						
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項							
①現状	【前年度（ 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類						
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類						
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組)							

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項							
①現状	【前年度（ 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類						
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類						
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)						
産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
①現状	【前年度（2023年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類			
	全処理委託量	1334.51 t	674.69 t	342.81 t	t	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1334.51 t	674.69 t	255.74 t	t	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	0 t	0 t	87.067 t	t	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0 t	0 t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組) ・動植物性残さ、汚泥については、すべて再生利用業者へ処理を依頼 ・廃プラスチックについては、一部を再生利用業者へ処理を依頼						

②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類			
	全 処 理 委 託 量	1270 t	640 t	325 t	t	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t	243 t	t	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t	82 t	t	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・優良認定処理業者の検索継続 ・廃プラの再生利用業者への処理増のための分別強化						
※事務処理欄							